

あなたと家族をサポート

認知症は、誰でもかかる可能性があります。そこで市は、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指し「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症の早期発見・早期対応に向けた支援を始めました。

の疑いがあり、次のいずれかに当てはまる人が対象になります。

- 認知症の治療を受けていない、または治療を中断している
- 介護サービスを利用していない、または利用を中断している

- 認知症による症状が強く、家族が対応に困っている
- 「親に認知症の疑いがあるが、受診してくれない」「介護サービスを利用したいが、どうしたら良いかわからない」と悩んでいるなら、チームの支援を受けられる可能性があります。まずは相談してください。

- ニュータウン地区：はなのき台地区：西部北地域包括支援センター（☎29・5005）
- 八生・豊住地区：西部北地域包括支援センター押畑支所（☎20・3655）
- 中郷・久住・遠山地区：中央地域包括支援センター（☎35・6081）

- 下総・大栄地区：東部地域包括支援センター（☎80・7007）

- ※くわしくは介護保険課（☎20・1545）へ。

相談は

地域包括支援センターに

認知症は、早期治療により改善が期待できるものもあります。適切な治療に向けた支援を受けるた

認知症初期集中支援チームとは

認知症の人や、その疑いのある人の家庭を訪問し、適切な医療・介護サービスにつなげるための支援を行う医療・介護の専門職員で構成されたチームです。

一定期間の支援を実施

チーム構成員である看護師や介護支援専門員が自宅を訪問し、認知機能の低下による生活上の問題点を確認します。そして、生活環境の改善やケアについてのアドバイス、情報提供といった支援を一定期間（最長6カ月）実施します。

対象となる人は

在宅で生活している市内在住の40歳以上の人で、認知症またはそ

